

よもぎた 議会だより

議会を傍聴しませんか
次の定例会は
3月4～7日開催予定です

第220号(令和7年2月5日発行)



台湾の文化を学ぶ海外研修へ

1月4日、大雪に見舞われながら旅立ちました。
台湾の豊かな文化や深い歴史、温かい人たちとの
交流は、生涯忘れられない思い出になったこと
でしょう。

目次

- ふるさと応援基金設置(第4回定例会)・・・P 2
- 一般質問 5議員・・・・・・・・・・P 4
- 県人事委員会勧告に準じた人件費補正(第2回臨時会)・・・P 9
- 被災地から日本一の米を(常任委員会合同視察研修)・・・P10
- 令和七年 年頭のご挨拶・・・・・・・・・・P12

U R L <https://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/gikai/>
E-mail yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp

●発行/青森県蓬田村議会 ●編集/議会広報編集委員会 〒030-1211 青森県東津軽郡蓬田村大字蓬田字汐越1-3/TEL 0174-27-2111



12月 第4回 定例会

ふるさと応援基金設置 1億4,209万円



第4回定例会が、12月4日から6日の3日間開催されました。

条例の改正、補正予算などの議案7件を審議し、すべて原案どおり承認、可決されました。

主な補正予算

(千円単位四捨五入)

会計名	補正金額	予算総額
一般会計	2億615万円	53億6,821万円
特別会計		
学校給食センター	154万円	3,982万円
介護保険	518万円	5億250万円
後期高齢者医療保険	873万円	1億20万円

■一般会計

・ふるさと応援基金積立金 1億4,209万円

寄附者の意向に沿った事業の実施に必要な財源を積み立てるため計上。

・蓬田村ふれあいセンター指定管理料 892万円

最低賃金や物価高騰による増額。

・旧ライスセンター機器設備等更新に係る改修工事費 2435万円

条例改正

■蓬田村ふるさと応援基金条例の制定について

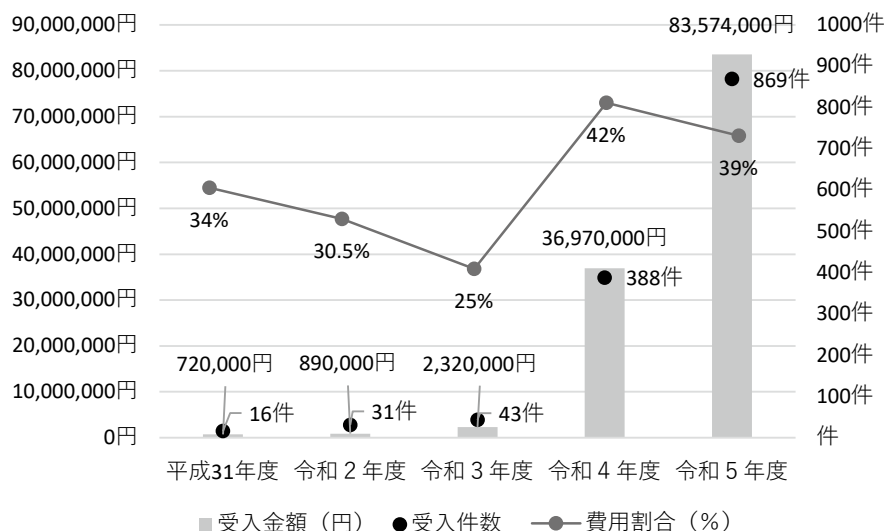
■蓬田村公の施設の指定管理者の指定について

■学校給食センター特別会計

・給食センター床・壁等補修工事費 122万円
給食を作る回転釜の床部分と、配膳室等の壁の破損箇所補修のため計上。

旧ライスセンター改修工事の機器設備製造出来高検査、建築確認申請、機器入れ替えのための建物の解体、戻し工事等に係るものを計上。
・第1分団屯所サイレン設備改修工事費 303万円
サイレンが腐食して鳴らないため取替えるもの。

蓬田村のふるさと納税寄附金の推移



人事案件

■蓬田村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員の任期が満了したため、再任について同意を得た。任期は令和6年12月17日～令和10年12月16日まで。



倉谷弘孝さん
(阿弥陀川)

陳情

■資料配布

・臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情
(一般社団法人 中国における臓器移植を考える会)

	審議内容	結果	賛成：反対
報告第68号	蓬田村ふるさと応援基金条例の制定について (ふるさと納税寄付金を寄附者の意向に沿った事業の実施に充てるため基金を設置、管理するため制定した)	承認	6：0
報告第69号	蓬田村公の施設の指定管理者の指定について (蓬田村ホタテガイ養殖残渣堆肥化处理施設の指定管理者を指定した)	承認	6：0
報告第70号	令和6年度蓬田村一般会計補正予算(第6号)	承認	6：0
議案第71号	令和6年度蓬田村学校給食センター特別会計補正予算(第3号)	可決	6：0
議案第72号	令和6年度蓬田村介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	6：0
議案第73号	令和6年度蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決	6：0
議案第74号	蓬田村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	可決	6：0

※1名欠席

ライスセンターの機器設備等更新工事 始まっています！

以前農協が所有していたライスセンターは、昭和61年度に竣工して以降、米（粳）の荷受け、乾燥・貯蔵・調製・出荷を担い、村の農業インフラを支えてきました。

しかし、約40年が経過した施設は、老朽化、機器類の能力不足などが問題となっていました。

そこで村は、老朽化が顕著な機器を一新する工事を計画し、昨年の稼働終了後から工事を始めています。

今回の工事では主に

- ①老朽化した機器の更新
- ②現在使用していない機器の撤去

を行っています。

特に乾燥機は、現在の連続送り式から、循環式^(※)への更新をすることで省力化が期待できます。

また、これまでオペレーターが手動で行ってきた機器操作を可能な限り自動化することにより、作業負担の軽減と省力化を図ります。

完成は令和7年8月末の予定で、今年の秋からは、より使いやすくなった施設で荷受けが開始されます。

(※) 循環式乾燥機は、粳を投入すると目標水分まで自動制御運転となり、最適で効率のよい乾燥を行います。

あなたの声を村政に

令和6年 第4回定例会 一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などに方針を問うものです。

議員一人当たりの制限時間は90分で、質問の回数は1つの質問につき、3回までです。



答弁する高谷健康福祉課長



質問する吉田議員

ページ	質 問 事 項	質問議員
5	1. 低濃度PCB廃棄物について	吉田 勉
6	1. 行政サービスについて	川崎憲二
7	1. 中学生の海外研修について	乳井厳公
8	1. 津波避難訓練について	柿崎裕二
8	1. 広瀬高根村道整備の計画について 2. カメムシの駆除対策について	久慈省悟

よし た
吉田つとむ
勉 議員

全文はこちら



低濃度PCB廃棄物 調査はどこに頼むのか

(村)メーカーに問い合わせしてほしい

Q

米の乾燥機についている低圧コンデンサーに使われることがある、低濃度PCBの処理期限が迫っている。

使われているかどうかは専門の人に鑑定を依頼するしかないが、どこに連絡すればいいのか。

また、村の個人宅までの出張費及び鑑定料は幾らになるのか。

A

(高谷健康福祉課長) PCBは平成5年以前に製造された変圧器等と、平成2年以前に製造されたコンデンサー等の絶縁油に使用された可能性がある。PCB濃度が0・5%以下の低濃度PCB廃棄物は、令和9年3月31日までに処分することが

義務づけられている。

調査方法としては、まずメーカーに問合せしてもらう。該当していれば絶縁油を採取し、専門機関で調査する。

メーカーでは、問合せ窓口を設置し、ホームページ等で情報を掲載している。自分で確認することが難しいければ、電気主任技術者や電気工事業者等に相談するのがよいと思う。

また、産業廃棄物処理事業振興財団では、専門の窓口相談を設置している。県では、環境保全課や東青地域県民局環境管理部が窓口になっている。

調査費用の助成はあるか

Q

調査の結果、PCBが含まれていなかった場合、調査費用に対して助成はあるのか。

A

(健康福祉課長) 先ほどの財団で二酸化炭素排出抑制対策事業費と補助金を活用し、低濃度PCBに汚染されている疑いがある変圧器のみに対して、10分の1の補助事業を実施している。こちらは中小企業や法人、個人事業主等への実施となる。

これは、現在使用中の変圧器の分析費用が対象で、条件等が様々あるので財団に確認していただくのが一

番いいと思う。

令和6年度の補助金は、今月12月20日3時までの申請となっており、令和7年度以降については未定ということだった。

処理費用の助成はあるか

Q

参考写真の場合の処理費用はいくらで助成はあるのか。

A

(健康福祉課長) 運搬費用が必要になる場合もあるので、実際に確認しないと判断できないとのことだったが、一例として低圧コンデンサーで、運搬費、安全管理費、処分費等で6万円程度から

という見込みだった。

処分費用の助成事業はなかった。

交換費用の助成はあるか

Q

交換が必要となった場合、費用の助成はあるのか。

A

(健康福祉課長) 先の補助金の中で、低濃度PCB汚染変圧器から高効率変圧器への交換事業を行っている。3分の1の補助事業を実施している。

こちらも、条件が様々あるので、財団に確認していただくのがよいと思う。



参考写真として提出された
米の乾燥機の低圧コンデンサー



かわ さき けん じ
川 崎 憲 二 議員

全文はこちら



証明書のコンビニ交付は できないか

(村)職員1名の配置が必要

Q コンビニエンスス
トア等における証
明書の自動交付サービス
は、県内40市町村のうち20
市町村、近隣では今別町が
導入している。

外ヶ浜町では、LINE
公式アカウントで行政手続
ができる「てのひら役場」
のサービスを11月1日より
開始している。

村でも、住民への行政
サービス向上のために早急
に導入したほうがいいと思
うが、どのように考えてい
るか。

A (稲葉総務課長)
この事業を進める
には、新たに職員1人を配
置しなければならない。

現在、新庁舎等建設事業
に職員を2人配置している

ので、事業完了後計画を進
めていきたいと思う。

村長の意見を聞きたい

Q インフラの整備は
住みよいまちづくり
には欠かせないと思うが、
村長の意見を伺いたい。

村長の意見を伺いたい。

A (久慈村長) この
サービスは、近年
全町村がやるのではないか
と、思っている。

新庁舎が完成すれば、次
に着手するのがこの部分
だろうと思っている。

「書かない窓口」を導入 できないか

(村)新庁舎建設事業完了後進めたい

Q 地方自治体の住民
サービスについて
デジタル化の推進の本格的
な取り組みが求められて
いる。

人口減少による深刻な労
働力不足の中で高品質な窓
口サービス継続のためは、
DXを推進し、業務効率
化が必要とされる。

村も、「書かない窓口」
の導入で窓口サービスの効
率化を図れると思うが。

A (総務課長) 窓口
で証明請求等の
際、マイナンバーカード等
で職員が機器で読み取り、
自動転記で申請書を作成
する。

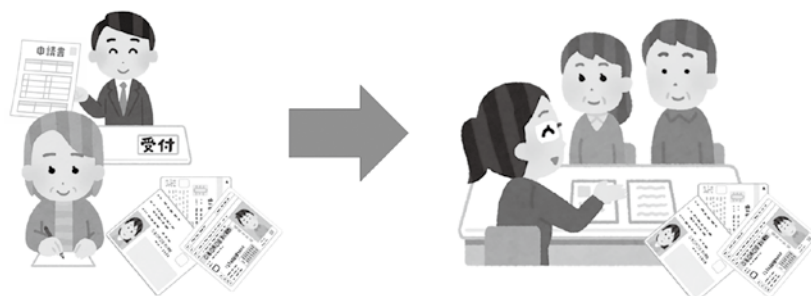
自動転記された申請書の
内容をお客様に確認いた
だいた後、署名していただ
く。

職員の配置、
担当職員の育成
等、早期に導入
できるようお願
いしたい。



だけの「書かない窓口」が
県内市町村においても進ん
でいる。
導入により、村民の利便
性向上と職員の業務効率化
が期待される。
この事業を進めるにも、
新たに職員1名を配置しな
ければならないと考えて
いる。

こちらも、新庁舎建設事
業が完了してから計画を
進めていきたいと思っ
ている。





にゅう い つよ ただ
乳井 厳 公 議員

全文はこちら



中学生の海外研修 行き先を見直してはどうか

(村)総合的に判断していききたい

Q 中学生の海外研修は、学年全員を対象とした非常にいい事業で、今後も継続していかなければならぬと思うている。

A 平成26年度以降台湾を訪問しているが、中国との関係悪化が懸念されている点、またソウルへの直行便が復活した点、それから過去にない円安が続いている点などを考慮して、韓国ソウルへと訪問先を見直すべきではないかと思うが。

A (八木澤教育課長) 台湾と中国との関係悪化が懸念されているが、現在外務省からは、台湾について危険情報、感染症危険情報は出されていない。



台湾の歴史に触れる

ソウルへ見直すべきではないかとのことについては、報道されているとおり、現在韓国の政情は不安定になっている。安全面、研修内容、予算額等、総合的に判断した上で今後の海外研修を検討していきたいと思うている。

平成26年と令和6年の
状況はどうか

Q 平成26年と令和6年の予算総額、参加者数、1人当たりの単価はどの程度になっているか。

A (教育課長) 平成26年度決算総額、425万円。

参加者数は、生徒22名、引率者5名、添乗員1名、計28名。生徒1人当たりの単価は15万5672円。

令和6年度予算総額当初予算は701万1000円だが、旅行会社の変更、人数の変更等で、実際の見積額からの補助金決定額は55万4000円。

参加者数は生徒24名、引率者4名、添乗員1名、計29名。生徒1人当たりの単価は19万1930円。

生徒1人当たりの単価は約3万6000円高くなっているが、燃油サーチャージの変動、空港税の改定、研修内容の見直

し等によるものである。

Q 海外研修に参加されていない生徒はいるのか。

A (教育課長) 今年、昨年とも1～2名の方が参加されていない。

バスポート取得費用を
助成できないか

Q 海外研修に参加するに当たって、バスポートが必須となる。12歳以上18歳未満のバスポート取得費用は1万1000円となっていた。

県の子育て支援対策も貰えるので、バスポート取得費用について助成を検討すべきと思うが。

A (教育課長) 家庭の都合で既に取得していることも想定される。公平性を保つためにも、取得費用の助成は現時点では考えていない。



充実した4日間を過ごして帰国した24名の生徒たち



かき ざき ゆう じ
柿崎 裕二 議員

全文はこちら



避難訓練の主導はどだったのか

(村)県主導で行われた

Q 11月15日、県の訓練が行われ、その後村の避難訓練に移行したが、今回の避難訓練の主導はどだったのか。

A (総務課長) 今回は、県民の防災意識向上を目的に、シエイクアウト訓練を県主導で行った。

同時に、県が指定した海岸沿い22市町村で、津波を想定した避難訓練を1自治会以上で実施するよう依頼があり、村もそれに参加した。

なぜ全自治会参加にしないのか

Q 避難訓練に当たり、各自治会に参加の是非を問う形で行ったのはなぜか。

A (総務課長) 今回は、村民の防災意識の向上を目的とした。来年度は、村主導で防災組織としての初動訓練等を実施したい。

訓練の課題は何か

Q 今回の避難訓練の課題は何か。

また、来年度は村主導の避難訓練を実施する考えがあるのか。

A (総務課長) 自主防災組織会長の方々に説明会を開催し、参加が可能な募集した結果、三つの自主防災組織の協力の下実施した。

訓練が平日に行われるため、仕事等で参加できない方が多いと感じ、募集を行った。



く じ しょう こと
小島 慈悟 議員

全文はこちら



村道整備の計画

どうなっているのか

(村)高根地区の後の予定

Q 広瀬高根道路がこれから施工されるが、頻繁に使用される道路である瀬辺地駅に通じる道路や、変電所の通りがかなり傷んでいる。

担当課は計画をどのように考えているのか。

A (高田建設課長) 整備する路線は、舗装面の老朽度や交通量、緊急性などを考慮して決定している。社会資本整備総合交付金を財源に実施しており、今後この事業を活用し順次整備していく。

来年度は村道7-1-1号線の高根地区を予定しているの、瀬辺地駅の通りや変電所の通りはその後に実施する予定である。

カメムシ対策で草刈を強化できないか

(村)殺虫剤で除去できる

Q 稲作に対しては、カメムシ、いもち虫対応として、防除が二度行われている。今年のようにカメムシが大量発生した場合、自宅の近くの草むらへ隠れたりする。

村の管理地において、草刈り等に力を入れ、対策を強化してほしいが。

A (総務課長) 冬の暖冬で個体の多くが越冬し、カメムシが大量発生したと言われている。室内に入ったカメムシについては、殺虫剤等を使って除去するようお願いする。

来年度も多く発生した場合、村の管理地を担当する課で協力して対策を進めていきたい。

11月 第2回 臨時会

県人事委員会勧告に準じた 人件費補正など 3億7,070万円

11月29日に臨時会が開催され、条例の改正、補正予算などの議案11件すべて原案どおり承認、可決されました。

補正予算

(千円単位四捨五入)

会計名	補正金額	予算総額
一般会計	1,738万円	51億6,206万円
特別会計		
学校給食センター	2万円	3,828万円
国民健康保険	57万円	4億9,184万円
介護保険	74万円	4億9,732万円
後期高齢者医療保険	44万円	9,147万円
水道事業	35万円	1億1,452万円

- 一般会計
- 学校給食センター特別会計
- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 水道事業会計
- ・青森県人事委員会の報告及び勧告に準じ、全会計において期末手当、勤勉手当の支給割合と、職員の給料、報酬、寒冷地手当の額を改めた。

主な条例改正と 質疑

■蓬田村議会議員の議員報酬及び費用弁償額等に関する支給条例の一部を改正する条例

Q (久慈議員) 小泉総理時代に村長、議員、職員は、国も地方自治体も10%カットされた。その後、職員の給与は回復したが、首長及び議員の報酬の見直しは考えないのか。

A (久慈村長) 各市町村長とも状況を見ながらということ、改定はほとんどやっていない。

ただ、最低賃金等が上がって一般職その他職員の給料が上がると、教育長や副村長の給料が一般職の最高級の職員よりも低くなる可能性が出てきたので見直さないとはいけないかという

のが大概の市町村長の意見である。
やるとすれば報酬審議会を作り、他町村の動きを見ながら思っている。

Q (久慈議員) 視察の費用弁償で間に合わない程の物価高騰になっている。
期末手当より、報酬を見直す必要があるのではないかなと思うが。

A (村長) 単に特別職、議員の報酬だけに限らず、例えば教育委員などのいろいろな委員の報酬にも影響する。
また、出張の際、役場職員は9000円に設定されているが、今9000円で泊まれるところはなかなか無い。そういう面から見直していかねばと考えている。

	審議内容	結果	賛成：反対
報告第57号	蓬田村議会議員の議員報酬及び費用弁償額等に関する支給条例の一部を改正する条例(議員の期末手当の支給割合を改正した)	承認	5：1
報告第58号	蓬田村特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(村長、副村長の期末手当の支給割合を改正した)	承認	5：1
報告第59号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例(教育長の期末手当の支給割合を改正した)	承認	5：1
議案第60号	蓬田村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案(職員の給料月額、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当の額を改正した)	可決	6：0
議案第61号	蓬田村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当の支給割合を改正した)	可決	5：1
議案第62号	令和6年度蓬田村一般会計補正予算(第5号)	可決	6：0
議案第63号	令和6年度蓬田村学校給食センター特別会計補正予算(第2号)	可決	6：0
議案第64号	令和6年度蓬田村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	6：0
議案第65号	令和6年度蓬田村介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	6：0
議案第66号	令和6年度蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	6：0
議案第67号	令和6年度蓬田村簡易水道事業会計補正予算(第3号)	可決	6：0

※1名欠席

被災地から日本一の米を 未曾有の複合災害からの復興をめざして



センターについての説明を受ける

このたび、総務文教・産業建設両委員会合同視察研修として、福島県と宮城県に足を運んできた。

福島県農業総合センター

福島県郡山市「福島県農業総合センター」にて。

- 同センターは、
- ①技術開発・企画調整機能
 - ②地域農業支援機能
 - ③先進的農業者育成・支援機能
 - ④食の安全・環境と共生する農業支援機能
 - ⑤県民との交流・情報発信

機能

などの5つの機能を有し、農業における試験研究から教育・安全な生産を総合的に推進する福島県農業のシンボリックな役割となっている旨の説明を受けた。

平成18年に発足され、敷地面積は55・6haを誇り、施設建物は草刈りの「鎌」の形をしている斬新な作りであった。

日本一の米を目指して

日本一の米を作りたいとの思いから開発された、新



粒が大きく、香りがふくよかで甘みが強いと評判の「福、笑い」

品種「福、笑い」は、14年の月日をかけて育成され、生産者を限定したうえで栽培条件も厳しく管理され販売されている。

現在は、高温にも強い更なる品種の開発にむけ選抜試験が行われているとのことであった。

また、一部地域においては、現在でも放射能の全袋検査も実施されている。

13年を経過した今でも行われていることに衝撃を受けた。

東日本大震災・原子力災害伝承館

次に、福島県双葉郡双葉町「東日本大震災・原子力災害伝承館」を訪れた。

伝承館は、福島県が経験した甚大な複合災害と復興の現状、復興過程で得た経験や教訓を国内外に広く発信し、後世に伝えることを目的に令和2年9月に開館された。

双葉町の伝承館へ向かう道中には、震災当時のままの家や建物が数多く残され、侵入できないようバリケードがなされ、家は朽ち果てていた。

伝承館の周りには建物はほぼ無く、復興作業を行っている重機が数多く見られた。

また、語り部として活動している小学校6年で被災した青年は、同級生84名のうち1人を除く83名と連絡が取れない状況であると話していた。



語り部の方の講話に聞き入る

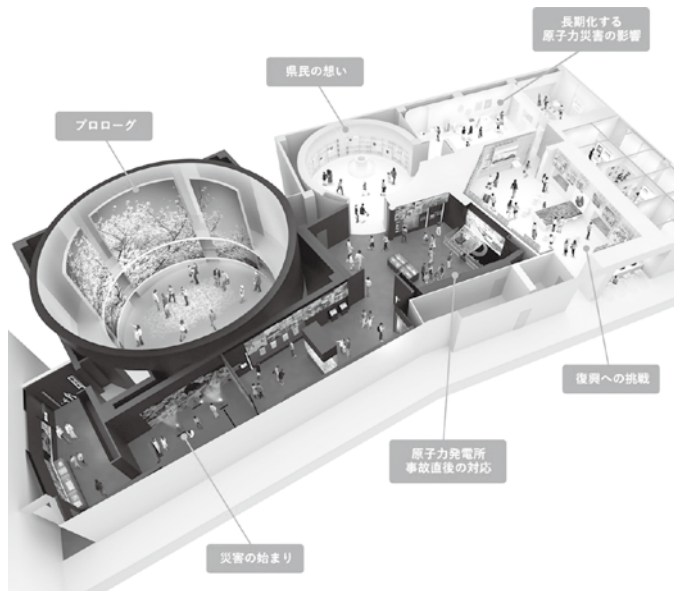


200点もの資料や研修で災害を学ぶ伝承館

これは、避難場所がバラバラになった事が原因であると言っていたが、なんと切ない話であった。

伝承館には、数多くの展示品があるわけだが、初めにプロログシアターで視聴した10分程度の映像が全てであった気がする。ナレーションは、10月17日に逝去された俳優の西田敏行さんが務められ、穏やかながら説得力のあるふくしまなまりが特徴的であった。

西田さんの「復興は、残念ながらもまだ道半ば。光があれば影もあります。」の締め言葉に、この伝承館で伝えたい全てが詰まっていると感じさせられた。



東日本大震災・原子力災害伝承館の展示ブース

片倉コープアグリ株式会社
東北支店宮城事業所
塩釜工場

最後に宮城県塩釜市「片倉コープアグリ株式会社東北支店宮城事業所・塩釜工場」にて。

同社は、片倉チツカリン株式会社とコープケミカル株式会社の2社が平成27年に合併し、社名改称され、肥料・飼料・化成品等を製造している。

同社宮城事業所も震災では津波が押し寄せた。

浸水や製造保管していた肥料が流されるなどの被害を受けた。

震災後は、流された肥料の回収などさまざまなことを経験し、平成24年11月に新社屋を完成することができた。

現在、同事業所塩釜工場では配合肥料の製造を中心に行っている。

各産地・各生産品により成分を変更しながら、生産現場の声に対応している。



肥料を製造する倉庫を視察する

肥料袋も20キログラムの主流から15キログラム袋も開発されるなどし、高齢者を中心に徐々に浸透してきている。

同工場は、原料の搬入等を考え、塩釜港の海岸脇すぐに建てられている。

肥料価格については、原料が98%輸入品ということ踏まえれば、現行の円安状態が解消されない限り、値下げにはならないとのことであった。

結びに、今回の視察目的の一つは、震災後の復興状況の確認であった。確かに街並みはキレイであったが、当時のままの建物、荒れ果てた農地、工場等の誘致箇所は数店舗のみなどの状況を踏まえれば、思った以上に進んでいないという事が感じられる。

中でも福島県内の中間貯蔵施設で仮置きされている除染土壌等は、県外にて2045年3月までに最終処分されることが国の責務として法律に定められている。

「まだまだ道半ば。」と、西田さんの言葉を思い返すこととなった。

本県むつ市にて、中間貯蔵されている使用済み核燃料の保管期限後の搬出先が決定されていない問題と重なることのないよう、適切に処分されることを願うばかりである。

(乳井 厳公)



津波に飲み込まれた跡地は広大な更地のまま

令和七年年頭のご挨拶



蓬田村議会議長
小 鹿 重 一

村民の皆様方におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。村政はもとより、議会運営に格別のご理解とご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、その後も全国で集中豪雨など自然災害が多い年でもありました。

11月には、数十年ぶりの陸奥湾を震源とする地震が2回発生しました。

普段から災害発生時に対

する意識を持つことが重要と考えさせられました。

また、2022年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻により、燃料や原材料価格の上昇、物価の高騰が収まらない状況にあり、生活に大きな影響を与えているなど村民の皆様にとって先の見えない不安を感じている1年であったと思います。

そうした中、本村では、たままつ海祭りや村民祭などのイベントが開催され大

いに盛り上がりました。

役場新庁舎の建設も進んでおり、完成後、庁舎を活用しての住民が集える場所、周辺地域の活性化につながることへの期待ができるなど明るい話題もあつたと感じています。

議会としましては、村民の皆様により添った存在でなければなりません。時代の変革を的確に捉え、村政の最終決定機関として、議員一同、執行機関と切磋琢磨しながら、安全・安心な住みよい明るい村の未来に向け、力一杯努力してまいり所存です。

なにとぞ、これまで以上のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

議員の主な活動

11月21日	例月集会
11月22日	東津軽郡監査委員協議会実務研修
11月25日	東津軽郡社会福祉大会
11月27日	議会運営委員会
11月29日	第2回臨時会
12月3日	例月出納検査
12月4～6日	第4回定例会
12月20日	例月集会 水稻病虫害防除事業検討会
12月26日	青森地域広域事務組合議会臨時会

1月7日	例月出納検査
1月21日	第1回臨時会
2月4日	例月出納検査



皆さんの声をお聞かせください

村民の皆さんに伝わる広報作りを目指し、ご意見をお待ちしています。



青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊
副委員長：川崎憲二
委員：吉田 勉
委員：乳井厳公

電話 0174-27-2111

編集後記

今年の雪は初雪から根雪となり、小雪の昨年とは大違いの年になっています。雪害も発生していて、被害者にはお見舞い申し上げます。

昨年の米の価格は農家も驚くほどの高値になり、消費税も心配です。米作りの経費も高騰しているため、農家にはやつと元が取れる感じです。今年の大雪で春の水不足も解消されればと期待がされます。

物価高騰で年金暮らしの生活が厳しくなっているため、援助が必要になっています。子どもの出生が少なくとても心配されています。結婚できる環境が厳しくなり、これの解消は待たないになっています。

結婚できる経済力を持たせるための政治が今一番必要です。

(坂本 豊)